

令和5年第32回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年11月2日(木) 午前11時15分～午後2時45分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時35分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 半田警察本部長 雲田警務部長 山本首席監察官
笠田生活安全部長 加藤刑事部長 前田交通部長
岡山警備部長 植木警察学校長 坂口情報通信部長
足羽警務部参事官 奥村米子警察署長

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、前田室長補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 鳥取県被害者支援フォーラムの開催(警務部)
- 各種大会報告(警務部)
- 鳥取県警察・消防殉職者慰霊祭の挙行(警務部)
- 第55回鳥取県交通安全県民大会の開催(交通部)
- 鳥取県・島根県機動警察通信隊合同訓練の実施結果(情報通信部)
- 米子警察署の取組状況(米子警察署)

(1) 鳥取県被害者支援フォーラムの開催(警務部)

警察本部

鳥取県被害者支援フォーラムは、社会全体による被害者支援の必要性について

県民の理解を深めることを目的に、平成20年から毎年開催しているもので、今年で15回目の開催となる。今回は、11月21日午後1時30分から、米子市内にある米子コンベンションセンターで開催する。主催は公益社団法人とっとり被害者支援センター、共催は鳥取県と鳥取県警察である。このフォーラムを広く県民に広報するほか、鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会の会員や各警察署に対しても参加を呼び掛けることとしており、参加定員は200人程度としている。

主な開催内容は、主催者等挨拶、長年にわたり被害者支援センターが行う支援活動に御協力いただいた方々に対する表彰のほか、平成20年10月、兵庫県神戸市北区において、当時高校2年生だった息子さんを殺害された御遺族の堤敏氏による講演、警察音楽隊による演奏を予定している。

なお、この度のフォーラムでは、犯罪被害者支援大学生ボランティアの方に司会を務めていただくこととしている。また、会場ロビーにおいて、犯罪被害者自助グループ「なごみの会」による「いのちのパネル展」も同時開催することとしている。

委員

被害者支援の認知度が高まる取組を引き続きお願いする。今回のフォーラムでは、犯罪被害者支援大学生ボランティアの方に活動していただくということで、よい取組であると思う。犯罪被害者に寄り添うということ、県民にしっかり伝えていただきたい。

委員

これまで、犯罪が発生すると加害者ばかりに目が向いて、被害者や残された遺族にスポットが当たることは少なかったように思う。近年、被害者側に目が向けられるようになり、社会の関心も高まってきている。このような中でフォーラムが開かれるのは意義のあることだと思うので、しっかりと広報していただきたい。

委員

フォーラムを通して、犯罪被害者の支援の機運を醸成するということは、本当に大事なことだと思う。今回は、初めて犯罪被害者支援大学生ボランティアがフォーラムの司会を務めるということで、会場のよい雰囲気をつくってくれると思う。とても期待している。

被害者支援について、本来の警察の役割は防犯、犯罪被害者をつくらないこととであると考える。また、犯罪被害者に対する中傷が多いと聞くので、そういうことを警察にはしっかりと取り締まっていただきたい。

犯罪被害者の支援を、鳥取県、各市町村がしっかりと取り組むような体制になっていけばよいと思う。重要なフォーラムだと思うので、よろしく願います。

警察本部

職員が出場した4つの大会の結果について報告する。

1つ目は、10月5日に高松市で開催された令和5年度中国四国管区内警察逮捕術大会について、予選リーグ2敗、決勝リーグ2敗で、9県中9位という結果であった。

2つ目は、10月23日、24日の両日、日本武道館で開催された令和5年度全国警察柔道・剣道大会について、柔道男子団体戦は、予選リーグ2敗で敗退した。剣道男子団体戦は予選リーグを1勝1分けで勝ち上がり、決勝リーグを1勝1敗の2位で3位決定戦に進出したが、惜しくも破れリーグ全体で4位となった。剣道女子団体戦は2回戦敗退という結果であった。なお、剣道男子団体は、予選リーグ制度が採用された平成6年以降、初めての予選リーグ突破となり、来年は第2部への昇格が決定し、特筆すべき快挙となった。

3つ目は、10月21日、22日の両日、広島県で開催された2023年度全日本ライフル射撃競技選手権大会について、職員2人が出場し、参加者54人中、9位と22位という結果であった。

最後は、10月6日から10月16日までの間、鹿児島県において開催された特別国民体育大会について、ライフル射撃は、職員1人が出場し、60発競技で47人中19位、30発競技で47人中20位という結果であった。剣道は、職員2人が出場し、1回戦で敗退した。ウエイトリフティングは、職員1人が73キロ級に出場し、24人中21位という結果であった。ソフトテニス、成年女子団体戦には職員1人が出場し、1回戦で敗退した。

近く出場を予定している大会として、11月9日、中国四国管区警察学校射撃場において、令和5年度中国四国管区内拳銃射撃競技大会が開催され、団体競技に職員5人が出場する。

委員

各種大会において頑張ってくださいと、この頑張りをしっかりと警察活動に生かしていただきたい。今後、選手を励ます機会があれば、有り難い。

委員

こういう大会は組織を活気づけるものだと思う。敗因の分析も行い、引き続き頑張ってください。

委員

県警察に国体に出られる方が5人もおり、大変すばらしい。剣道の技術は、警察業務に直結する逮捕術にも生かされると思うので、引き続きスキルアップを図ってほしい。武道、スポーツを通して、心技体を鍛えていただくことが、県民の期待にこたえる警察につながると思うので、引き続き、お願いします。

(3) 鳥取県警察・消防殉職者慰霊祭の挙行（警務部）

警察本部

本年11月9日、鳥取県警察・消防殉職者慰霊祭を城南神社で挙行する予定である。主催は、鳥取県警友会連合会と公益財団法人鳥取県消防協会で、本年は鳥取県警友会連合会会長が祭主を務める。慰霊祭は、無宗教献花方式で行い、霊位は、警察殉職者御霊38柱、消防殉職者御霊18柱の56柱である。参列者は、鳥取県議会議長等が予定されている。

委員

警察の仕事は危険と隣り合わせだと思うので、このような不幸な事態が再び起こらないよう、体制づくりをしっかりとお願いする。安全に職務執行していただくよう、引き続きお願いする。

委員

周囲の気づきによって、防ぐことのできた殉職事案もあったと思う。今後、殉職者が出ないようにお願いする。

委員

この慰霊祭は、志半ばで殉職された方の御霊にお祈りをして、その方の思いをつないでいくため、毎年挙行されているものと思う。殉職者の思いを引き継いで、警察業務を行っていただきたい。

(4) 第55回鳥取県交通安全県民大会の開催（交通部）

警察本部

この鳥取県交通安全県民大会は、毎年県下の交通安全功労者及び優良運転者の表彰を行うとともに、交通安全に関する講演等を行うなど、県民の交通安全意識の更なる高揚を図り、交通事故を防止することを目的として、昭和44年から県内東・中・西部の各地区で持ち回り開催しているものである。

本年は、11月10日午後から、東伯郡湯梨浜町にあるハワイアロハホールで開催する。

主催は鳥取県交通対策協議会で、共催は鳥取県、鳥取県警察、一般財団法人鳥取県交通安全協会である。参加人数は約500人を予定している。昨年までは、新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小し、表彰受賞者や関係団体のみでの参加としていたが、本年は4年ぶりの通常開催としており、各方面に参加の呼び掛けを行うなど、準備を進めているところである。

当日は、正午から展示・体験コーナーを設け、午後1時30分から式典を行う。

開催内容は、展示・体験コーナーでは、室内において鳥取城北高校書道部による書道作品のほか、交通安全ポスターや自転車乗車用ヘルメットの展示を行う。

なお、11月7日には、鳥取城北高校において、書道作品の贈呈式を開催する。

また、駐車場において、パトカー・白バイの試乗体験のほか、シートベルト着用体験車によるシートベルトの効果体験や、安全運転サポート車による乗車体験コーナーを設けることとしている。

式典では、始めに交通事故犠牲者に対する黙とうを行い、その後、本部長による主催者挨拶を予定している。主催者挨拶に引き続いて、交通安全功労者表彰を行うが、「鳥取県交通対策協議会長表彰」、「鳥取県警察本部長・鳥取県交通安全協会会長連盟表彰」についても、本部長が行う予定である。来賓祝辞は、浜崎鳥取県議会議長にお願いしている。

その後、湯梨浜町立ながせこども園の園児による交通安全メッセージの発表、オフィス悠々代表、アンガーマネジメントファシリテーター・高田しのぶ氏による講演が行われる。「危険運転防止のためのアンガーマネジメント」と題して、約45分の講演をしていただく。講演の後は、警察音楽隊による演奏、受賞者代表による大会決議が行われる予定となっている。

本大会の開催を通じて、県民の交通安全意識の更なる高揚を図って、交通事故防止につなげていく。

委員

今年は4年ぶりの通常開催ということで、大変よいことだと思う。展示体験コーナーが充実しているということなので、来場者の交通安全意識を高めるきっかけづくりになればよいと思う。しっかりと県民に伝えていく機会にしていきたい。

委員

アンガーマネジメントの研修は、民間企業でも盛んに行われており、皆が気を付けなければいけない部分であると思う。

道路交通法に基づく意見の聴取の際に、酒気帯び運転による免許取消し事案に係る報告を多く受けているところ、飲酒運転撲滅のためのメッセージをこの大会に盛り込み、飲酒運転は危険なものだと県民にしっかりと伝えていきたい。

委員

大会の中で、交通対策協議会が交通安全功労者とか優良運転者の表彰を行うということで、これは非常に大切なことだと思う。交通安全に対していろいろな努力をされている組織がたくさんあり、私の家の近くでも自主的に毎朝、横断歩道のところに出て、児童の安全を見ている方がいる。そういう方は、組織に属していないので、表彰されにくいと思うが、そういう方にも光を当てて、感謝して表彰するということは、交通安全につながると思う。今後工夫していきたい。

自転車のヘルメット着用は、今年4月から努力義務となっており、自転車はヘルメットを被って乗る乗り物だということが当たり前になればよいと思う。

年末年始の交通安全につながるような大会にしていきたい。

(5) 鳥取県・島根県機動警察通信隊合同訓練の実施結果（情報通信部）

警察本部

情報通信部では、県警察本部から遠隔地で発生した大規模災害の発生時における応援要請に係る申合せを、隣接する県情報通信部と取り交わしている。本件は、鳥取県西部地区の警察施設において警察活動に重大な影響を及ぼす通信障害が発生し、鳥取県から島根県情報通信部に支援要請を行って、通信設備の復旧活動と被災状況の映像配信等の通信対策を合同で実施したものである。

訓練は、令和5年10月19日午後1時から、黒坂警察署とその周辺で、鳥取県機動警察通信隊の隊長以下5人と島根県機動警察通信隊の隊長以下6人が参加の上、鳥取県西部を震源とした大規模地震による土砂崩れが発生し、送電線が寸断され、黒坂警察署管内一帯が停電したという想定で行った。

先着した島根県機動警察通信隊が可搬型の発動発電機を活用し、黒坂警察署通信機械室の通信設備に電源供給を行う停電対策を実施、また、警察署周辺の被災状況をモバイルカメラで撮影し、その映像を島根県情報通信部保有の応急通信対策車を活用して、警察本部及び現地本部へ伝送を行い、さらには、臨時の警察電話を開通させて現地本部での通信手段の確保を行った。

大規模災害発生時は隣接する両県が協力し合い、警察通信の維持・確保を行うことは非常に重要な活動であり、今後も引き続き、定期的に合同訓練を実施し、職員の技能及び対処能力の向上に努めていく。

委員

合同の訓練を繰り返して行うことが大切だと思う。他県と協力しながら訓練を実施し、改善点は見直して、連携強化を図っていただきたい。

警察本部

今年度に入り、兵庫県北部で災害が発生した場合には、鳥取県情報通信部が先に行き、現場の無線通話の確保や映像配信等を行い、兵庫県情報通信部へ引き継ぐ訓練を実施した。情報通信部は、警察通信を途絶えさせないという使命があるので、このような活動を通じて、県警察に対して通信を確保していく。

委員

今後もしっかりと訓練を重ねていただきたい。

委員

大規模災害が発生した場合、通信設備に支障が出ることは多々あると思うので、そういう場合にしっかりと対応していただきたい。先ほどの、「警察通信を途絶えさせないという使命感を持ってやっている。」という言葉は、強く心に響いた。

委員

大規模災害は、毎年、各地で起こっており、その点からもこの訓練は非常に重要である。説明があったように、警察通信の確保は必須であり、これがないと暗闇で作業しているようなものである。実際にやってみないと分からないことがたくさんあると思うので、しっかりとノウハウを蓄積してほしい。山陰両県の安全のためにもしっかりと継続していただきたい。

(6) 米子警察署の取組状況（米子警察署）

米子警察署

米子警察署から、戦略的な広報活動の推進状況のほか、警察活動基盤の充実強化のための取組状況及び大規模警備・交通対策について説明がなされた。

委員

米子城武者隊を起用したポスターの作成や米子市封筒への注意喚起メッセージの印刷など、市民が普段目にするところに切り込んで、しっかりと特殊詐欺被害防止対策をしていただいていると思う。大変有り難い取組であるので、是非、継続していただきたい。特殊詐欺被害防止においては、協力団体をたくさんつくっていただき、特殊詐欺被害防止を推進していただく団体を増やしていただきたい。

交通事故防止に資する連携として、地域交通安全活動推進委員が米子弁で交通安全を呼び掛ける動画を作成されたとのことについて、米子弁を使われているということで、住民の方に身近に感じていただける取組であると思う。

警察活動基盤の充実強化として、育休者の家族遠足イベントの報告があったところ、育休者は、復帰後に働いていくことができるだろうかという不安があるので、こういう取組で職場と接点をつけていただくのは大事なことだと思う。

委員

米子警察署は、多岐にわたって活動していただいている。米子市内を走っているとパトカーをよく目にしており、しっかりとパトロールしていただいていると感じていて、大変有り難い。大規模警備・交通対策について、米子は皆生トリアスロンやがいな祭りなど大きなイベントが多く、総理大臣等の警護もあり、緊張する警備・交通対策が続いたと思うが、引き続きお願いします。

委員

米子エリアの安全に努めていただいている。特に、米子城やガイナーレなど、

市民の関心が非常に高いものを活用して広報をされており、よい取組の仕方であると思う。また、県警察の大会において、米子警察署は逮捕術や剣道が好成績だったことについて、強化訓練をされたのか。

米子警察署

術科を推進し、訓練を積み重ねた結果であると思う。

委員

すばらしいことである。

陸上自衛隊米子駐屯地を「自転車用ヘルメット着用推進機関」に委嘱したということに関し、これまでも行っていることか。

米子警察署

「自転車用ヘルメット着用推進機関」に委嘱したのは、陸上自衛隊米子駐屯地が初めてである。

委員

民間団体を巻き込んで、このような取組を引き続き進めていただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 報告事項

- ・ 審査請求の受理
- ・ 取調べ監督室による調査結果報告
- ・ 令和5年度「鳥取県民の警察官」表彰受賞者の決定等
- ・ 令和5年度兵庫県警察総合災害警備訓練への参加

4 公安委員会委員間の事前検討・協議等

5 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。